



フェデックス 関西国際空港のネットワークを週36便に拡充

世界最大の国際総合航空貨物輸送会社フェデラル エクスプレス(フェデックス)は、1994年の開港時より関西国際空港に貨物便を就航させ、これまでも他社に先駆けての深夜便運航をスタートする等、完全24時間空港であるポテンシャルを生かしたサービスを提供されてきました。

本年より、フェデックスは更にそのネットワークを拡充し、合計週36便もの貨物便を関西国際空港に就航させることとなります。(昨年1月のフェデックス就航便数は週26便)

フェデックスのネットワーク拡充により、関西国際空港はアジア太平洋地区における拠点空港の一つとして、関西、西日本とアジア、北米、欧州などの世界各地の市場とを、さらにスピーディーかつ信頼性の高いサービスで結ぶこととなります。

なお、同社の就航便数(週36便)は、関西国際空港に就航する貨物航空会社としては最大の規模となります。

フェデックスの昨年来のネットワーク拡充については、関西国際空港全体構想促進協議会(促進協(事務局:大阪府))とともに増便要請活動を展開してきたところであり、特に、弊社が昨年8月に発表した国際線増量割引制度の拡大適用と、促進協の強化された就航奨励金制度により、実現に至ったものであります。



関西国際空港の国際貨物地区に並ぶフェデックス MD11 貨物機(参考画像)